

第3回 産総研テクノブリッジセミナーin 福井 参加費無料

産業技術総合研究所(産総研)福井サイトは、2016年の開設以来、産総研の研究開発による技術シーズを福井県企業の皆様に橋渡しする取り組みを積極的に行っており、その一環としてシーズ紹介のセミナーを毎年開催しています。今回は、繊維産業や化学工業等において高いポテンシャルをお持ちの福井県の皆様に、近年注目されているSDGs(持続可能な開発目標)の達成にも貢献できる産総研の材料技術を、高分子などの有機系材料に重点を置きながら紹介させていただきます。

日時：令和2年2月21日(金)13:30～16:20(13:00受付開始)

場所：福井県工業技術センター(福井市川合鷺塚町61字北稲田10)研修棟1階 C101 会議室

主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所

共催：福井県(予定)、(公財)ふくい産業支援センター

後援：ふくいオープンイノベーション推進機構

13:30～ **開会挨拶**

13:35～ **来賓挨拶**

13:40～ **「持続可能な社会の実現に貢献する産総研の材料技術」**

飯田康夫(産総研 中部センター 上席イノベーションコーディネータ)

自動車や携帯機器、半導体などの生産の基盤となる材料開発の分野においても、地球温暖化への対応が大きな課題となっています。電池やモータなど創・省エネルギーを可能とする新材料開発、ゼロエミッションのためのプロセス技術など、持続可能な社会実現のための研究開発動向について産総研シーズを中心に紹介します。

14:15～ **「ナノセルロースの特徴を発揮させる利活用技術」**

遠藤 貴士(産総研 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 研究グループ長)

ナノセルロースの利活用では、用途に応じて、形状や特性の選択が重要です。ゴム等では、微細なナノセルロースよりも部分ナノ化の方が補強効果は向上します。現在、強度を視点としない新規用途として、ナノセルロースと物質との特異な分子間相互作用を活用した、高発色性材料や食品分野などへの応用も進めています。

15:05～ **「産総研における材料診断プラットフォームの取り組み」**

水門 潤治(産総研 機能化学研究部門 化学材料評価グループ 研究グループ長)

産総研では、高分子材料を扱う企業における品質や耐久性に関する課題解決を支援する「材料診断プラットフォーム」の構築に向けた取り組みを強化しています。本講演では、本プラットフォームのコンセプトと耐久性向上や寿命予測につながる材料診断技術の事例について紹介します。

15:40～ **企業支援制度等の紹介**

16:20 **閉会**

申し込み先 ふくい産業支援センター

オープンイノベーション推進部ネットワーク推進室 担当:末定、橋本

福井市川合鷺塚町 61 字北稲田 10 電話:0776-55-1555 FAX:0776-55-1878

2/19(水)までに、FAX または次の電子メールで申し込んでください。E-MAIL: s.suesada@fisc.jp

会社・機関名	所属	氏名	電話番号